

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく  
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 袴田健一・弘前大学大学院 消化器外科学講座・教授  
研究協力者 石戸圭之輔・弘前大学大学院 消化器外科学講座・准教授

研究要旨（がん臨床データベースと専門医制度—消化器外科領域から見た悉皆性向上への効果と制度の管理—）  
外科系専門医制度と紐づけることで高い悉皆性が得られているNational Clinical Database (NCD)の入力システムについて、制度整備の背景や全国がん登録、臓器別がん登録の連携の可能性について検討した。データ登録の負担軽減やデータの精緻性確保のための多層的対策が高い悉皆性と精緻性の背景と推定された。専門制度を活用したNCDと全国がん登録の予後情報の連結は、精緻情報と予後データを相補しうる利点が明確であり、臨床研究の推進と国民への有益な情報提供に寄与しうる。

#### A. 研究目的

専門医制度と臨床データの登録を紐づける制度の長所、短所を抽出するとともに、全国がん登録との連携上の課題について検討する。

#### B. 研究方法

NCD および全国がん登録と臓器がん登録、のそれぞれの登録業務の実態について調査し、業務連関やデータベース相互の補完性について検討する。

（倫理面への配慮）

すでに公表されている匿名化情報を用いる。開示すべき利益相反なし。

#### C. 研究結果

専門医制度と紐付けすることで臨床データの悉皆性の担保を企図した NCD 入力システムには以下の特徴が見られた。

- 1) 基本領域外科学会と参加の6サブスペシャルティ学会全てが参画し、多重的な入力システムを構築。
- 2) 各学会がデータベース委員会で、精緻性と入力負担のバランスを考慮して、入力項目数を制御。
- 3) NCD データ入力の正確性を維持するために、各学会が Audit を継続実施。
- 4) 新専門医制度においても、全ての外科系専門医制度が NCD を活用。
- 5) NCD 参加医療機関が NCD の財源負担を行う仕組みを構築。
- 6) 医師の働き方改革に伴うタスクシフトにより、入力業務を医師以外が担う場合が増加。

#### D. 考察

専門医制度との紐付けによる臨床データ入力の悉皆性と精緻性の向上を図る上で有効だが

、外科系専門医制度と NCD との紐付けにおいては、データ入力者の多重化、入力負担の制御、Audit システムの運用など、幾重にも対策を取ることで、精緻性と悉皆性の担保が図られている。

一方、NCD データが内科系専門医との紐付けが限定的であることから、がん登録全体としては悉皆性に課題が多い。

NCD はデータ管理体制が整備されているものの、学術団体が管理するデータベースについてはデータ管理に不均一性がみられ、公的情報である予後情報の付与については、課題が多い。

#### E. 結論

専門医制度との紐付けによる臨床データ入力は、悉皆性と精緻性を高めるために有効な方法である。全国がん登録の予後情報との連結の推進が望まれる。

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

Konno H, Kamiya K, Takahashi A, Kumamaru H, Kakeji Y, Marubashi S, Hakamada K, Miyata H, Seto Y. Profiles of institutional departments affect operative outcomes of eight gastroenterological procedures. Ann Gastroenterol Surg. 2021;5:304-313.

##### 2. 学会発表

1. 袴田健一, 北川雄光. 各領域から考える外科専門医制度—消化器外科領域か

- ら考える外科専門医制度とサブスペン  
シャルティ専門医制度（特別企画）．第  
121 回日本外科学会定期学術集会：  
2021.4.8-10：東京．
2. 袴田健一．保険医療と外科手技に対す  
る診療報酬 外科系専門医制度と関連  
した診療報酬点数改善とインセンティ  
ブ付与に向けて（総会特別企画）．第  
83 回日本臨床外科学会総会：  
2021.11.18～20：東京．

#### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし